

平成23年度 予算決まる

一般会計 329億5,296万円 特別会計 273億1,701万円

一般会計歳出(性質別)

区分	23年度		22年度	伸び率
	予算額	構成比		
義務的経費	81億732万円	24.6%	79億2,033万円	2.4%
扶助費	60億2,748万円	18.3%	59億2,509万円	1.7%
人件費	36億8,063万円	11.2%	36億3,646万円	1.2%
公債費	178億1,543万円	54.1%	174億8,188万円	1.9%
計	43億5,816万円	13.2%	42億251万円	3.7%
その他	23億6,344万円	7.2%	17億2,630万円	36.9%
物件費	39億8,890万円	12.1%	39億8,866万円	0.0%
補助費等	7億3,440万円	2.2%	6億9,760万円	5.3%
繰出金	2億5,082万円	0.8%	2億2,947万円	9.3%
投資及び 出資貸付金	911万円	0.0%	1億2,341万円	-92.6%
維持補修費	1,000万円	0.0%	6億8,185万円	-98.5%
積立金	117億1,483万円	35.5%	116億4,980万円	0.6%
予備費	34億2,270万円	10.4%	55億472万円	-37.8%
計	329億5,296万円	100.0%	346億3,640万円	-4.9%

会計別予算規模

区分	23年度	22年度	伸び率
一般会計	329億5,296万円	346億3,640万円	-4.9%
特別会計	273億1,701万円	273億1,701万円	0.0%
企業会計	0万円	0万円	0.0%
計	602億6,997万円	619億5,341万円	-2.2%

継続事業中心の骨格編成

平成23年度の予算の概要をお知らせします。2月に市長選挙が執行されたことから、人件費などの義務的経費やこれまで継続してきた事業を中心とする骨格的な予算を編成。一般会計と特別会計を合わせた総額は602億6,997万円(対前年度当初予算比2.2%減)となりました。

一般会計

前年度当初予算比4.9%減)となりました。

特別会計

子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちの実現に向け、市民生活に密着した福祉・教育や活力あるまちづくりのための経費を計上した結果、総額で329億5,296万円(対前年度当初予算比4.9%減)となりました。

一般会計歳出(款別)

区分	23年度		22年度	伸び率
	予算額	構成比		
議会費	4億1,064万円	1.3%	3億2,655万円	25.8%
総務費	32億6,189万円	9.9%	40億9,350万円	-20.3%
民生費	122億269万円	37.0%	121億592万円	0.8%
衛生費	32億6,438万円	9.9%	25億1,222万円	29.9%
労働費	2億4,212万円	0.7%	2億786万円	16.5%
農林水産費	6億6,043万円	2.0%	6億6,626万円	-0.9%
商工費	10億7,611万円	3.3%	9億3,085万円	15.6%
土木費	41億5,217万円	12.6%	43億8,360万円	-5.3%
消防費	13億4,081万円	4.1%	13億5,728万円	-1.2%
教育費	26億5,109万円	8.0%	37億3,405万円	-29.0%
公債費	36億8,063万円	11.2%	36億3,646万円	1.2%
予備費	1,000万円	0.0%	6億8,185万円	-98.5%
計	329億5,296万円	100.0%	346億3,640万円	-4.9%

一般会計歳入

区分	23年度		22年度	伸び率
	予算額	構成比		
市税	143億6,640万円	43.6%	127億9,980万円	12.2%
繰入金	4,139万円	0.1%	7億5,626万円	-94.5%
諸収入	12億3,221万円	3.7%	11億9,448万円	3.2%
その他	10億5,043万円	3.2%	10億8,116万円	-2.8%
計	166億9,043万円	50.6%	158億3,170万円	5.4%
国庫支出金	49億6,178万円	15.1%	60億5,325万円	-18.0%
地方交付税	39億900万円	11.9%	54億9,200万円	-28.8%
市債	29億7,870万円	9.0%	30億4,470万円	-2.2%
府支出金	26億2,295万円	8.0%	25億575万円	4.7%
その他	17億9,010万円	5.4%	17億900万円	4.7%
計	162億6,253万円	49.4%	188億470万円	-13.5%
計	329億5,296万円	100.0%	346億3,640万円	-4.9%

市債・基金の状況

平成23年度末での市債残高(市の借金)は約703億円、基金・積立金残高(市の貯金)は約123億円となる見込みです。22年度末と比べると市債残高は1億1,353万円増加(一般会計は2億736万円減、特別会計は3億2,089万円増)の見込みです。今後とも将来に負担を先送りしない財政運営に努めます。

市債の状況

区分	23年度末見込み	22年度末見込み	増減
一般会計	336億159万円	338億895万円	△2億736万円
特別会計	304億7,012万円	301億9,471万円	2億7,541万円
企業会計	62億249万円	61億5,701万円	4,548万円
合計	702億7,420万円	701億6,067万円	1億1,353万円

基金・積立金の状況

区分	23年度末見込み	22年度末見込み	増減
一般会計	83億862万円	83億4,091万円	△3,229万円
特別会計	39億9,182万円	42億5,619万円	△2億6,437万円
合計	123億44万円	125億9,710万円	△2億9,666万円

平成23年度の主な事業

安心の医療があるまちづくり

- ◆医療再編の取り組みに(490万円) 新たな枠組みでの医療再編に取り組み、地域医療を確保。
- ◆地域医療の確保対策に(2,512万円) 奨学金制度や指導医(若手医師)確保事業などを実施。
- ◆休日救急医療の確保対策に(2,177万円) 休日の救急診療体制の確保。

活力あるまちづくり

- ◆国民文化祭の開催に(908万円) 「吹奏楽ポップスとジャズの祭典」、「赤れんがアートフェスティバル」の開催。



▲国民文化祭プレ大会「舞鶴ポップス&ジャズ自由演奏会」(昨年11月)

- ◆雇用の創出に(1億8,270万円) 求職者の一時的な雇用・就業機会の確保

保や雇用の継続が見込まれる事業を実施。

- ◆京都舞鶴港クルーズの実施に(375万円) 観光誘客をさらに推進するため、京都舞鶴港を活用した客船によるクルーズを実施。
- ◆有害鳥獣被害の防止に(2,451万円) 野生鳥獣による農作物被害を防止するため、防除施設の設置や猟友会による捕獲を強化。
- ◆漁場などの整備に(3,322万円) アワビ・サザエなどの磯根資源の増殖漁場を整備し、つくり育てる漁業を推進。
- ◆京都舞鶴港の振興に(1億3,787万円) 港湾施設の整備や高速道路とのアクセス向上を図るとともに、舞鶴国際ふ頭を活用した貿易拡大を推進。
- ◆舞鶴・ナホトカ姉妹都市提携50周年記念事業に(1,350万円) ナホトカ市(ロシア)とさらなる友好関係を築くためスポーツ・文化交流を実施。
- ◆道路の整備に(11億2,859万円) 円滑な交通確保や防災機能の向上などのため、市道伊佐津七日市線や市道野原大山線などを整備。
- ◆公園の整備に(7,936万円) 市民

の憩いや自然とのふれあいの場を創出するため、自然文化園などの都市公園やちびっこ広場などを整備。

- ◆公営住宅の整備に(2億4,058万円) 老朽化した三宅団地の建て替え工事など。
- ◆民間木造住宅の耐震化推進に(386万円) 災害に強いまちづくりを推進するため、市内にある木造住宅の耐震診断および耐震改修費などの一部を助成。

安心して生活できるまちづくり

- ◆子育て支援に(18億4,108万円) 放課後児童クラブや地域子育て支援ステーションの充実、子ども手当の給付など。



- ◆母子の健康づくりに(8,267万円) 安心して子どもを産み、ゆとりをもって健やかに育てることができるよう、妊婦健診や各種教室を実施。

- ◆予防接種に(1億5,880万円) 国の特例措置により日本脳炎の対象年齢を拡大するなど感染症の発生・まん延を予防。

- ◆小・中学校の校舎などの改修に(4億4,238万円) 老朽化している校舎の大規模改修工事の設計(三笠小・青葉中)、グラウンド整備(白糸中)、武道場の新築(城南中)、給食室のドライシステム化(岡田小・由良川小)。

- ◆特色ある教育活動の支援に(729万円) 引揚記念館などの見学を通じて歴史を学ぶ「ふるさと学習」などに支援。
- ◆危機管理体制の強化に(618万円)

- ハザードマップの作成や衛星携帯電話の配備、備蓄物資の整備。

- ◆安心して安全な水の安定供給に(13億7,500万円) 上福井浄水場の施設の更新、配水管整備や簡易水道の統合など。

- ◆全市水洗化の推進に(18億9,711万円) 下水道管の布設、処理施設の整備、浄化槽の設置などにより処理区域を拡大。

市民とともに歩む信頼できる市政

- ◆行財政改革の推進に(120万円) 市民ニーズや意見を踏まえ、施策・事業を評価する手法の調査・研究のほか外郭団体のあり方の見直しなど